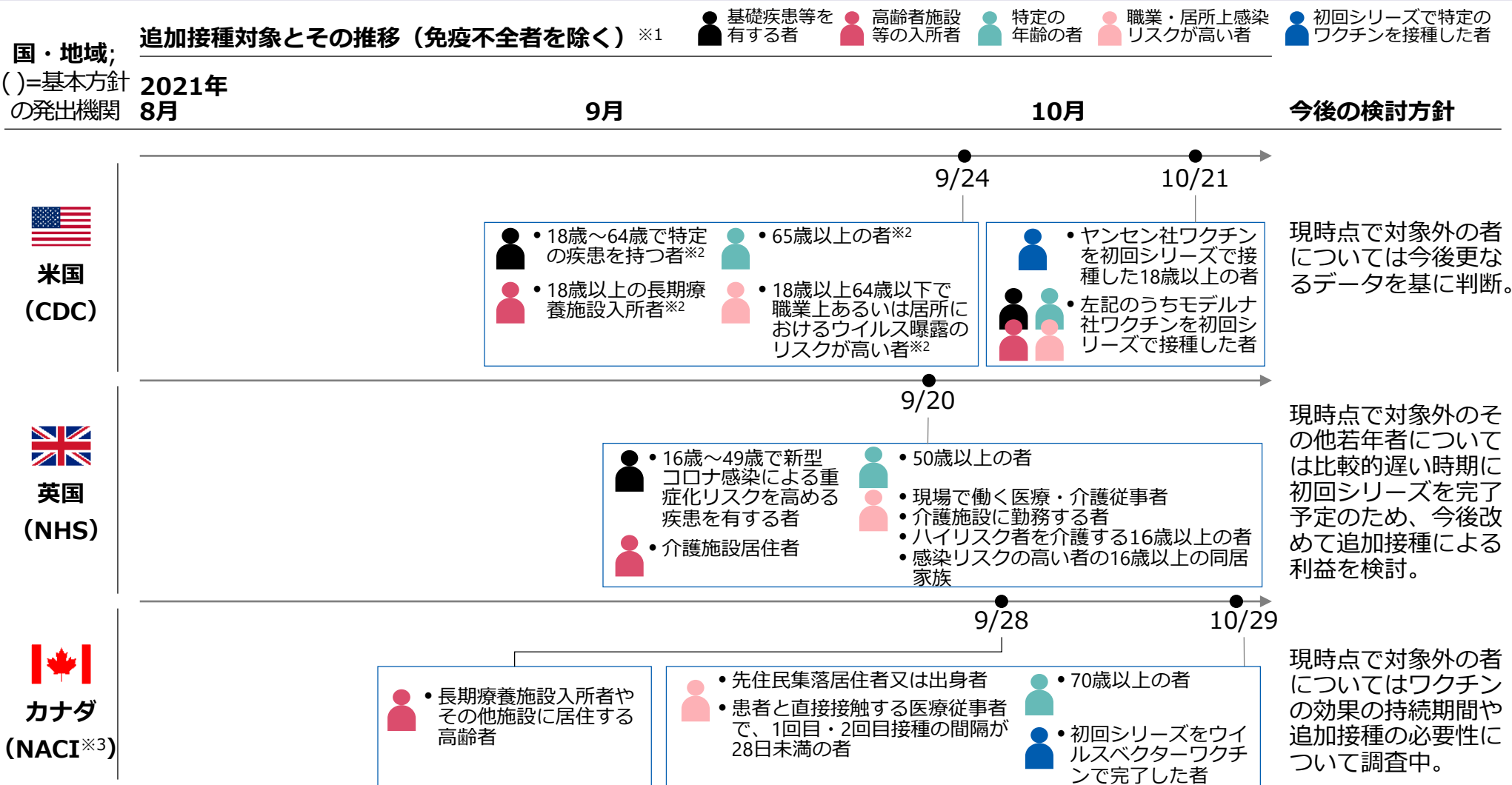


諸外国における新型コロナワクチンの追加接種の対象者について (1/3)

諸外国においては追加接種対象を徐々に広げており、現時点で対象となっていない若年層等についても、今後方針が検討される予定となっている。



※1: 日付は声明・推奨の発表日 ※2:ファイザー社ワクチンを初回シリーズで接種した者に限る。

※3:保健省内にある諮問委員会 (NACI) による推奨。ただし、NACIが推奨する対象者への追加接種は地域主導で既に開始している。。

SOURCE: [CDC](#), [HHS](#), [CDC](#), [JCVI](#), [NHS](#), [NACI](#), [NACI](#), [PHAC](#), [PHAC](#)

諸外国における新型コロナウイルスワクチンの追加接種の対象者について (2/3)

諸外国においては追加接種対象を徐々に広げており、現時点で対象となっていない若年層等についても、今後方針が検討される予定となっている。

追加接種対象とその推移 (免疫不全者を除く) ※1

● 基礎疾患等を有する者
 ● 高齢者施設等の入所者
 ● 特定の年齢の者
 ● 職業・居所上感染リスクが高い者
 ● 初回シリーズで特定のワクチンを接種した者

国・地域;
()=基本方針の発出機関

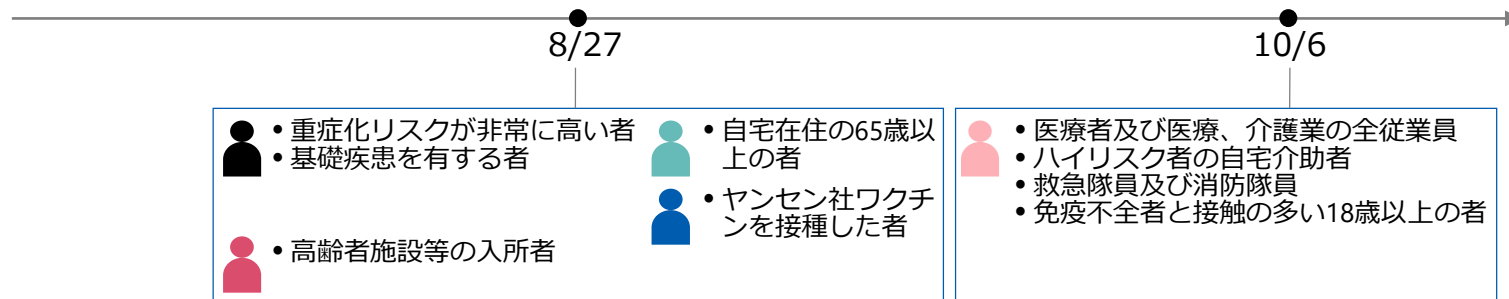
2021年
8月

9月

10月

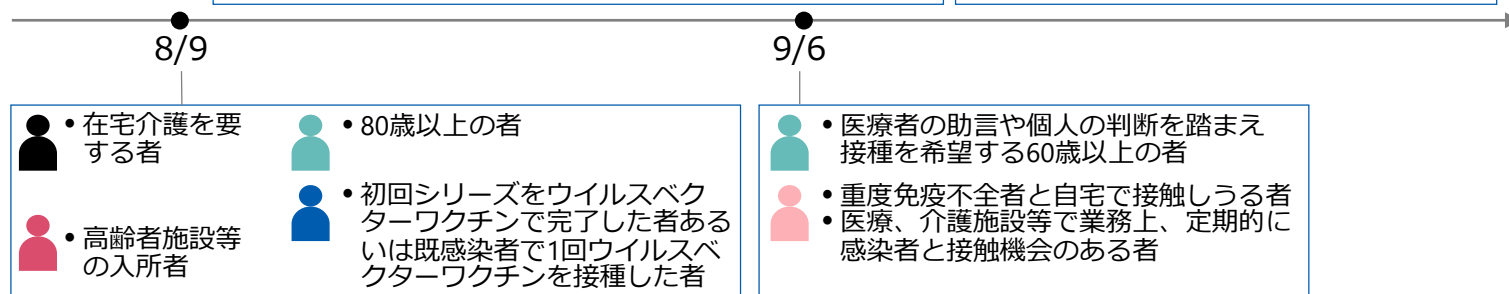
今後の検討方針


フランス
(保健省)



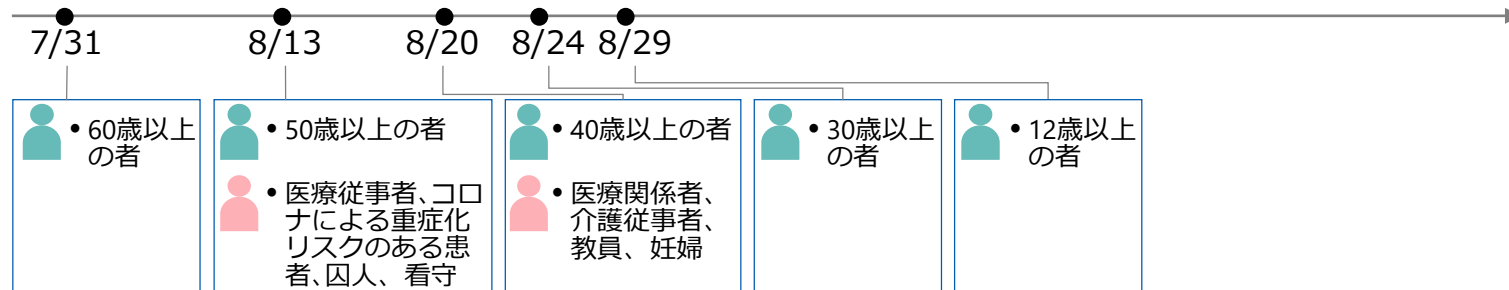
現在対象外の者についても新しいデータが追加接種を正当化する場合の方針を見直す。


ドイツ
(保健省)



その他の者については方針策定に向けて調査中。


イスラエル
(保健省)



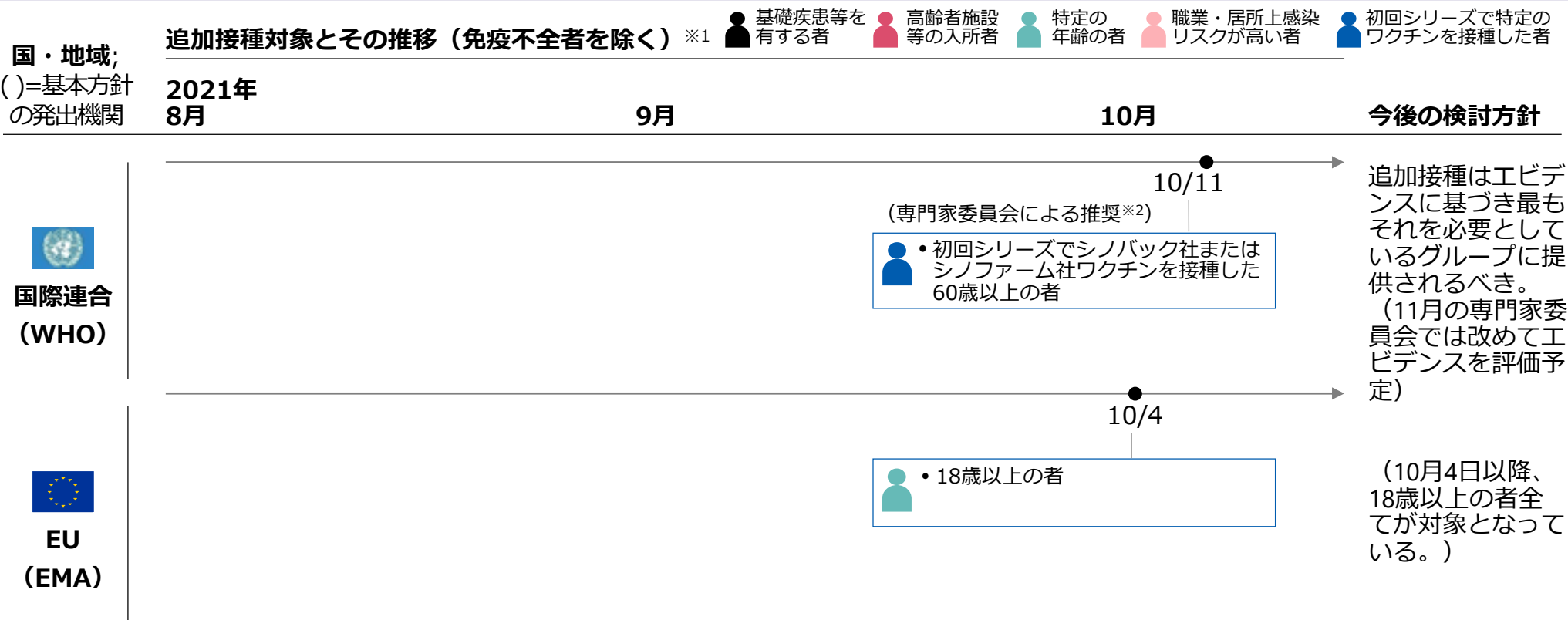
(8月29日以降、12歳以上の者全てが対象となっている。)

※1 日付は声明・推奨の発表日

SOURCE: フランス保健省, フランス保健省, HHS, HHS, GMK, GMK, Reuters, イスラエル保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省

諸外国における新型コロナウイルスの追加接種の対象者について (3/3)

EMAは10月に18歳以上の者に対する追加接種を承認する方針を打ち出した一方で、WHOは現時点では慎重な姿勢を変更していない。



※1 日付は声明・推奨の発表日

※2 強制力をもたないWHOの専門家委員会による推奨であり、実効力を持つにはWHO事務局長の承認が必要。

諸外国における新型コロナウイルス追加接種対象者 (1/2)

諸外国では、重症化リスクが高い者、職業上感染リスクが高い者、重症化リスクが高い者と接触の多い者を追加接種の対象としている。(※1)。

	追加接種において左記を対象としている国	我が国において対象となる者(例)
重症化リスクが高い者	<ul style="list-style-type: none"> • 米国 • カナダ※2 • 英国 • ドイツ • フランス 	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者 • 基礎疾患を有する者
職業上の理由等によりウイルス曝露リスクの高い者	<ul style="list-style-type: none"> • 米国 • カナダ※2 • 英国 • ドイツ • フランス 	<ul style="list-style-type: none"> • 医療従事者
重症化リスクが高い者と接触の多い者	<ul style="list-style-type: none"> • 英国 • ドイツ • フランス 	<ul style="list-style-type: none"> • 重症化リスクが高い者の関係者 • 重症化リスクが高い者の介助者(介護従事者等)

※1:初回シリーズで特定のワクチンを接種した者などを対象としている国もある。

※2:保健省下にある諮問委員会(NACI)による推奨。ただし、NACIが推奨する対象者への追加接種は地域主導で既に開始している。

SOURCE: [CDC](#), [NHS](#), [フランス保健省](#), [ドイツ保健省](#), [NACI](#)

2. 本日の論点：【1】追加接種 (1) 対象者 諸外国における新型コロナワクチン追加接種対象者 (2/2) : 重症化リスクが高い者に関するエビデンスの一例 (参考)

高齢者、基礎疾患を有する者は入院や死亡を含めた重症化リスクが高いことを複数の研究が示しており、諸外国において追加接種の対象とする根拠となっている。

追加接種対象となる 重症化リスクが高い者

重症化リスクが高いことを示すエビデンスの例

高齢者

- 2020年5月から8月までにおいて米国で見られた新型コロナウイルス感染に関連した死亡件数のうち、78%は65歳以上の高齢者であった。(Gold et al., MMWR, 2020)
- 60歳以上において、新型コロナワクチンの2回目接種後から時間が経過する程、重症例の発生率が増加する傾向が認められた。(Goldberg et al., NEJM, 2021)
- 入院及び死亡に対する新型コロナワクチンの予防効果は2回目接種20週後以降に限定的ではあるが低下が見られ、低下は高齢者や臨床的にリスクの高い者においてより顕著だった。(Andrews et al. (preprint), 2021)

基礎疾患を有する者 (※1)

- 死亡に繋がりを有する重症化症例は、初回シリーズが完了した複数の基礎疾患を有する者という少数のグループにおいて起こっていると考えられる。(Brosh-Nissimov et al., Clin Microbiol Infect, 2021)
- 新型コロナワクチンの2回目接種後20週以降の入院・死亡に対する予防効果の逓減は限定的であったが、高齢者や基礎疾患のある者ではより大きな逓減が認められた。(Andrews et al. (プレプリント論文), 2021)

※1 基礎疾患を有する者とは、以下のいずれかに該当する者が該当する。

1. 以下の病気や状態の方で、通院/入院している者

- | | |
|--|---|
| 1. 慢性の呼吸器の病気 | 8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている |
| 2. 慢性の心臓病 (高血圧を含む。) | 9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患 |
| 3. 慢性の腎臓病 | 10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態 (呼吸障害等) |
| 4. 慢性の肝臓病 (肝硬変等) | 11. 染色体異常 |
| 5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病
又は他の病気を併発している糖尿病 | 12. 重症心身障害 (重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態) |
| 6. 血液の病気 (ただし、鉄欠乏性貧血を除く。) | 13. 睡眠時無呼吸症候群 |
| 7. 免疫の機能が低下する病気 (治療中の悪性腫瘍を含む。) | 14. 重い精神疾患 (精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療 (精神通院医療) で「重度かつ継続」に該当する場合) や知的障害 (療育手帳を所持している場合) |

2. 基準 (BMI 30以上) を満たす肥満の者